

令和3年度

# 事業報告書

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会

# 目 次

社会福祉法人 池田市社会福祉協議会 令和3年度事業概要	1
令和3年度 事業報告（拠点区分・サービス区分別）	
1. 法人運営	3
2. 善意銀行運営事業	1 2
3. 地域福祉事業（小地域ネットワーク事業）	1 3
4. ボランティアセンター事業	2 1
5. ファミリー・サポート・センター事業	2 7
6. 日常生活自立支援事業	3 0
7. 大阪府生活福祉資金貸付事業	3 1
8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業(いきいき地域支援事業)	3 2
9. 食でつながる共生のまちいけだ	3 5
10. 意思疎通支援事業	3 6
11. 紙おむつ給付事業	3 7
12. 生活支援体制整備事業	3 7
13. 有償協力員派遣事業（にじの会）	4 0
14. 訪問介護事業	4 2
15. 障がい者総合支援事業	4 3
16. 移動支援事業	4 3
17. 居宅介護支援事業・介護予防支援事業	4 4
18. 障がい者地域生活支援センターひだまり	4 5
19. 池田市さわやか地域包括支援センター	4 5
20. 池田市保健福祉総合センター管理運営	4 7
21. 喫茶パーラーいけだ	4 9

## 社会福祉法人 池田市社会福祉協議会 令和3年度事業概要

池田市社会福祉協議会では、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中、感染予防に細心の注意を払いながら事業を継続的に実施しました。延長された新型コロナウイルス感染症特例貸付への膨大な相談対応、地域において人と人のつながりを絶やさないための地域活動への支援、コロナ禍でもサービスを滞りなく提供できるよう利用者の不安解消に努めながら在宅福祉サービスを実施してまいりました。また、コロナ禍において新たに生じたり、より深刻化した生活課題を抱えた方々を支援するための新たな取り組みの実施など、「ウィズコロナ」を意識しながら、社協としての使命である「だれもが安心して暮らせる福祉のまち」の実現を目指して、地域住民、行政や関係機関・団体と協働し、一人ひとりの暮らしを守る活動を行ってまいりました。

### 【重点目標の概況】

#### ◎新型コロナウイルス感染拡大の影響への対応とポストコロナを見据えた地域づくりへの取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている状況下において、ICTを活用しての会議のオンライン化、YouTubeチャンネルを活用しての地域活動におけるプログラムの提供などを進めましたが、地域の方々へICTスキルを提供して一緒に行うまでには至りませんでした。また、コロナ禍で様々な生活上の変化が生じるなかで、「食でつながる共生のまちいけだ」を実施して、「食」を通じてあたたかなつながりを感じていただく機会を設けました。

#### ◎池田市との協働による第5次池田市地域福祉活動推進計画の策定

池田市において地域共生社会を実現するために、池田市と池田市社協の合同事務局を設置し、令和5年度に向けて「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画(i-プラン)」の一体的策定に取り組みました。令和3年度は、「第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画策定委員会」「素案検討委員会」を開催するとともに、地域福祉に関する活動を行う方への意識調査を実施し、また、3つの「ワーキンググループ」を設置し検討を行いました。

### ◎小地域ネットワーク活動の活性化と関係団体との連携

地区福祉委員会で進める個別援助活動とグループ援助活動については、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、従来通りの活動はなかなか実施できない状況が続きましたが、そのような中でも、各地区福祉委員会では、小地域ネットワーク活動がめざす「人と人とのつながり・支え合い」を絶やさないよう、新しい生活様式に基づき、工夫を凝らした活動を展開しました。

また、「地域におけるひきこもり支援を考える」地区福祉委員会研修会を開催し、福祉委員以外にも民生委員児童委員、関係機関・団体の方々に参加いただき、地域におけるひきこもり支援を共に考える機会を設けました。

### ◎良質な介護サービスの提供と事業経営の効率化

介護保険事業・障がい者総合支援等の事業の制度改正の影響、他事業所との競合や介護人材不足等により、在宅福祉関係事業の採算は大変厳しい状況になっていますが、少数精鋭の人員配置と事業の効率化を図り経営の安定化に努めました。

### ◎経営基盤の安定と活動財源の確保

活動財源の確保については、会員会費の増強、収益事業「喫茶パーラー」の収益性向上などに努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、昨年が続いて減収となりました。一方、本会が新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市民への生活資金貸付業務を行っていること等に対し、公的な補助や助成を得ることができ、コロナ下での経営基盤の安定化の一助となりました。

### ◎地域福祉の情報発信基地としての保健福祉総合センター体制整備と次期プロポーザルの準備

平成29年度から指定管理者となり、管理運営を強化するとともに、地域に開かれ、賑わいのあるセンターを目指し、各種事業を企画実施してきました。指定管理の最終年度である今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、池田市による新型コロナワクチン接種会場の設置・運営、センター開館時間の短縮や利用制限など感染防止に努めながらの運営となりましたが、そのような中でも、各種企画を継続し、センターの利用促進に努めました。

また、池田市によるプロポーザルの結果、令和4年度から5年間、引き続き、池田市保健福祉総合センターの指定管理者に指定されました。

# 令和3年度 事業報告

## 1. 法人運営

### [1] 理事会

開催数:6回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
3.6.7	1. 令和2年度事業報告及び決算について 2. 令和2年度監査報告について 3. 令和3年度第1次補正予算について 4. 評議員候補者の推薦について 5. 令和3年度第1回評議員会の議題等について	17
3.6.23	1. 会長、副会長及び常務理事の選任について 2. 顧問の選任について 3. 評議員選任・解任委員の選任について 4. 各種委員会委員の選出について	13
3.10.15	1. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 2. 職員就業規則等の一部改正について 3. 顧問の選任について 4. 会長及び常務理事の職務執行状況について	14
3.12.23	1. 予備費充当について 2. 喫茶事業の廃止について 3. 定款の一部改正について 4. 令和3年度第2次補正予算について 5. 令和3年度第2回評議員会の議題等について	11
4.2.28	1. 居宅介護支援事業の廃止について 2. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 5. 令和4年度事業計画及び予算について 6. 令和4年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について 8. 令和3年度第3回評議員会の議題等について	17
4.3.23	1. 事務局長の任命について 2. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 3. 非常勤職員就業規則等の一部改正について	12

## [2] 評議員会

開催回数3回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
3.6.23	1. 令和2年度事業報告及び決算について 2. 令和2年度監査報告について 3. 令和3年度第1次補正予算について 4. 理事及び監事の選任について	21
4.1.13	1. 喫茶事業の廃止について 2. 定款の一部改正について 3. 令和3年度第2次補正予算について 4. 理事の選任について	23
4.3.10	1. 居宅介護支援事業の廃止について 2. 令和4年度事業計画及び予算について	21

## [3] 三役会

開催数:4回

開催日	主 な 議 題	出席者(人)
3.6.23	1. あて職の分担について 2. 三役会定例日の設定について	10
3.9.21	1. 喫茶パーラーいけだの廃止について 2. 池田さわやか居宅介護支援事業所の廃止について 3. 池田市への予算要望について 4. 職員就業規則等の一部改正について 5. 顧問の選任について 6. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について	10
3.12.15	1. 予備費充当について 2. 喫茶事業の廃止について 3. 定款の一部改正について 4. 令和3年度第2次補正予算について 5. 令和3年度第2回評議員会の議題等について 6. 理事の選任について	8

4.2.14	1. 居宅介護支援事業の廃止について 2. 事務局の組織及び事務処理規則の一部改正について 3. 経理規則の一部改正について 4. 非常勤職員賃金規則の一部改正について 5. 令和4年度事業計画及び予算について 6. 令和4年度補償契約及び役員等賠償責任保険契約の内容について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について 8. 令和3年度第3回評議員会の議題等について	9
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---

## [4] 研修活動及び行事

開催数:0回

開催日	研修及び行事名	場所	主な参加者
4.1.7	令和4年(2022年)新年互礼会	池田市民文化会館	<中止>

## [5] 役員等連絡調整会議及び研修会

開催日	会議・研修会名	場所
3.4.8	大阪府市町村社協連合会総会	オンライン
3.4.8	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	オンライン
3.6.10	大阪府社会福祉協議会事務局長会議	オンライン
3.7.8	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	オンライン
3.9.2	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	オンライン
3.9.16	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	オンライン
3.11.4	大阪府市町村社協連合会事務局長会議	大阪社会福祉指導センター
4.2.3	大阪府市町村社協連合会会長・事務局長合同会議	オンライン
4.3.8	北摂地区社会福祉協議会連絡会会長・事務局長会議	オンライン

## [6] 事務局体制の整備

### (1) 課長会

社協事務局4課の情報共有と部署間の連携を促進するため、毎月原則最終火曜日に課長会を開催しました。

### (2) 人事評価制度

池田市において新しい人事評価システムを導入し効果が上がっていることから、社協においても従来の人事評価システムに換えて、池田市の新人事評価システムを簡略化したものを導入し、平成30年度から試行的に実施しています。今年度も、社協の事業推進期間にあわせ、評価期間を半年から1年に延ばし、さらに試行を重ねました。

### (3) 職員ミーティング

職員間の一体感の醸成と、情報共有と部署間の連携を促進するため、原則毎月1回全職員参加による職員ミーティングを開催してきましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大期には中止したため、計7回のミーティング開催にとどまりました。

## [7] 広報啓発活動

### (1) 広報紙「いけだの社協」の発行

市民へ社協活動や社会福祉に関する啓発、宣伝を行うために、広報紙を年4回発行。各号53,900部印刷し、市報「広報いけだ」に折り込み、市内全戸に配布しました。

毎号発行するにあたり、地区福祉委員を中心に構成された広報委員会で内容の検討や編集を行っていますが、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、179号（令和4年2月1日発行）のみ委員会を開催し、他の号は事務局で編集を行いました。

号	発行日	主な内容
176	3.5.1	① 社協会員募集 ② 「もったいない」を笑顔に変える！食でつながる共生のまちいけだ ③ 令和3年度社協事業計画・予算
177	3.8.1	① 食でつながる共生のまちいけだ ひろがるフードパントリー ② 令和2年度事業報告・決算 ③ 社会福祉協議会 役員一覧
178	3.10.1	① 今こそ福祉に愛の手を！赤い羽根共同募金 ② 地区福祉委員会 コロナ禍でも地域のつながりを絶やさず活動を続けています ③ 歳末たすけあい運動にご協力を！ ④ 日常生活自立支援事業

179	4.2.1	① 地区福祉委員会活動 コロナ禍で新しい活動再起動 ② 心と心をつなぐ住民の助け合い活動「にじの会」協力会員募集!! ③ 「サポステ」説明会を開催します 居場所「つむぎ」に来ませんか？
-----	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

## (2)ホームページの運営

市民に対して、24時間の情報提供を目的としてホームページを公開。適宜、内容を更新し、積極的に社協事業をPRしました。

特に、各地区福祉委員会の活動ページにおいて、地区活動の情報提供に努めました。

# [8]社協会員

## (1)住民会員会費状況

地区名	一般会員		賛助会員		特別賛助会員		名誉会員		会員数合計(口)		会費総額(円)
	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	口数	会費額(円)	前年度	今年度	
秦野	1,034	517,000	58	116,000	8	80,000	0	0	1,156	1,100	713,000
北豊島	678	339,000	57	114,000	9	90,000	0	0	764	744	543,000
細河	722	361,000	6	12,000	2	20,000	0	0	911	730	393,000
石橋南	324	162,000	102	204,000	9	90,000	1	50,000	468	436	506,000
緑丘	504	252,000	51	102,000	1	10,000	0	0	592	556	364,000
呉服	1,354	677,000	136	272,000	20	200,000	0	0	0	1,510	1,149,000
石橋	468	234,000	45	90,000	4	40,000	0	0	535	517	364,000
神田	458	229,000	24	48,000	0	0	0	0	500	482	277,000
五月丘	127	63,500	20	40,000	0	0	0	0	145	147	103,500
池田	975	487,500	59	118,000	16	160,000	0	0	1,069	1,050	765,500
伏尾台	432	216,000	7	14,000	5	50,000	0	0	451	444	280,000
事務局	228	114,000	0	0	2	20,000	2	100,000	231	232	234,000
合計	7,304	3,652,000	565	1,130,000	76	760,000	3	150,000	6,822	7,948	5,692,000

## (2)組織構成会員入会状況

領 域		加入団体数(団体)
I	住民代表的な性格のつよいもの	18
II	福祉専門機関・団体的性格のつよいもの	27
III	当事者団体的性格のつよいもの	4
IV	関連分野団体	11
V	その他	0
合 計		60

## [9] 池田市社会福祉施設連絡会

池田市内の社会福祉施設及び社協が連携し、連絡調整、交流並びに社会貢献事業への協力等を図り、地域福祉の推進ならびに施設福祉の充実・発展に努めることを目的に活動しています。

今年度も昨年度に引き続き緊急事態宣言が発令され、活動が阻まれました。

コロナ対応でメンタルにダメージを受ける中、ストレスマネジメントや癒し効果のあるリラクゼーション体操を学び、地域とのつながりづくりを模索する1年となりました。

会員数 (4.3.31 現在)	会員施設種別			
	高 齢	障がい	子ども	その他
16 法人	7 法人	4 法人	4 法人	1 法人

## [10] 地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の策定・推進

### (1) 第4次池田市地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の推進

平成 29(2017)年度から令和 4(2022)年度までの 6 年計画の 5 年目として、計画の理念である「すべてのひとが、住み慣れた地域においてその人らしく、いきいきと豊かに安心して生活をおくり、ともに社会参加のできる福祉のまちづくり」実現に向けて活動をすすめました。

### (2) 第5次池田市地域福祉活動推進計画 (i-プラン) の策定

令和 5(2023)年度からの次期計画のために令和 3 年度と令和 4 年度の 2 ヶ年をかけて策定を行っています。同時期に策定され、理念を同じくする「地域福祉計画」(行政計画)とは、第 4 次計画では連携して策定しましたが、今回はさらに進んで一体の計画として策定することになりました。

#### ① 合同事務局の設置

計画を一体的に策定するため、池田市福祉部高齢・福祉総務課と社協の双方から 2 名ずつ事務局職員を出し、合同で計画策定をすすめました。

#### ② 第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動推進計画策定委員会の開催

公募の市民・市内に勤務する方、市内で社会福祉事業関係者、地域福祉活動を行う方、学識経験者、関係行政職員等 17 人による構成の策定委員会を設置開催しました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者(人)
1	3.10.19	市役所3階 議会会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正副委員長の選出</li> <li>・計画策定の概要説明</li> <li>・計画の評価報告</li> <li>・市民アンケート調査分析結果報告</li> </ul>	14 人

2	4.3.4	市役所3階 議会会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキンググループの結果報告</li> <li>・地域福祉に関する活動を行う方の意識調査結果報告</li> <li>・計画骨子(案)について</li> </ul>	16人 (うちオンライン参加3人)
---	-------	----------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------

### ③素案検討委員会の開催

行政の関係次課長14人で委員会を設置し、行政の庁内調整と合意形成、素案の検討等を行いました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者(人)
1	3.6.29	市役所7階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定方針、スケジュールおよび体制について</li> <li>・市民アンケート調査の項目と内容について</li> <li>・武庫川女子大学松端教授の講義</li> </ul>	13人
2	3.10.5	市役所3階 議会会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3期計画の評価報告</li> <li>・市民アンケート調査結果・分析報告</li> </ul>	10人
3	4.2.15	市役所7階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉に関する活動を行う方の意識調査結果報告</li> <li>・実務担当者会議の進捗報告</li> <li>・骨子(案)について</li> </ul>	12人

### ④地域福祉に関する活動を行う方の意識調査

計画策定にあたり、民生委員・児童委員、地区福祉委員を対象に意見を計画に反映させるため、意識調査を実施しました。

- ・調査期間 令和3年9月8日～10月29日
- ・配布数 662 (民生委員・児童委員 175、地区福祉委員 447)
- ・回収状況 有効回収数 447 有効回収率 71.9%
- ・報告書 500部印刷

### ⑤ワーキンググループの設置・開催

計画に盛り込むべき事項のうち、「包括的な支援体制の整備に関する事項」について具体化するために、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」に対応した3つのワーキンググループを設置し、検討を行いました。

年月日	グループ名	会議の内容	出席者(人)
3.8.25	第1回 全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキンググループの主旨説明</li> <li>・(講演)地域福祉計画およびワーキンググループについて</li> </ul> 講師:武庫川女子大学 松端克文教授	32人
3.10.26	第2回 参加支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加支援とは</li> <li>・池田市内での参加支援の実践</li> <li>・参加支援への取り組みの可能性</li> </ul>	15人
3.11.8	第2回 相談支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前アンケートをもとにした相談支援の課題整理</li> </ul>	14人

3.11.9	第2回 地域づくりに 向けた支援	・すでに実践されている地域づくりに向けた支援について	15人
3.11.15	第3回 参加支援	・参加支援をすすめていく方向性と条件整備について	15人
3.12.8	第3回 地域づくりに 向けた支援	・地域づくりに向けた支援を進めていく方向性と条件整備について	14人
3.12.10	第3回 相談支援	・断らない相談支援、つながり続ける相談支援をすすめるための方向性・条件	13人
3.12.13	第4回 参加支援	・これまでのワーキンググループの振り返りと検討課題に対応したまとめ	14人
3.12.17	第4回 地域づくりに 向けた支援	・これまでのワーキンググループの振り返りと残った課題の検討	12人
3.12.22	第4回 相談支援	・これまでのワーキンググループの振り返りと検討課題に対応したまとめ	13人

## [11] 災害時の体制整備

### (1) 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施

災害時に、災害ボランティアセンターがスムーズに設置・運営できるようにするため、毎年実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの感染が拡大していたため、実施を見送りました。

### (2) 事業継続計画（BCP）の策定

毎年3月に実施していた全職員による災害時対応訓練は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大期にあたっていたため実施しませんでした。

介護分野や障害福祉分野等においては、事業継続計画（BCP）の策定、研修の実施、シミュレーション訓練などが義務付けられたこともあり、社協においても、平成26年に策定した災害時対応マニュアルに事業継続計画の部分を追加し、マニュアルを改定しました。

## [12] 各種団体事務局

池田市社会福祉協議会では、地域の住民や各種団体等に対し、社会貢献についての理解を深めるため、下記の団体事務局を担いました。

(1) 池田地区募金会（共同募金運動・歳末たすけあい運動）

(2) 日本赤十字社大阪府支部池田市地区・池田市赤十字奉仕団

(3) 池田市献血推進協議会

## [13] 寄附者

○一般寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	3.5.26	匿名	100,000	
2	3.9.30	株式会社阪急オアシス	140,000	
3	3.11.12	匿名	400,000	
4	4.3.10	NADIX株式会社	50,000	
合 計			690,000	

## 2. 善意銀行運営事業

### (1) 善意銀行寄附金

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	金 額(円)	備 考
1	3.6.25	匿名	15,000	
2	3.8.20	匿名	1,000,000	
3	3.8.23	匿名	5,000	
4	3.11.22	匿名	1,700	
5	3.12.10	匿名	200,000	
6	3.12.28	匿名	10,000	
7	4.1.14	ひつじ	70,000	
合 計			1,301,700	

### (2) 善意銀行寄附物品

(敬称略)

番号	年 月 日	氏 名	寄 附 物 品
1	3.5.24	五月山パークマネジメント共同企業体	スナック菓子 60 個
2	3.5.31	五月山パークマネジメント共同企業体	スナック菓子 40 個
3	3.6.3	生活協同組合コープこうべ	お米 70 kg
4	3.6.15	(株)トータルベネフィット	不織布マスク 1,000 枚
5	3.7.8	大阪北部農業協同組合	おかゆ 300 食
6	3.8.4	生活協同組合コープこうべ	お米 50 kg
7	3.8.5	日清食品(株)	スープ° 558 個
8	3.8.20	(株)ダイエー池田駅前店	カップ°麺 240 個
9	3.8.21	大塚製薬(株)関西第一支店	食品 24 個、飲料 84 本
10	3.10.1	生活協同組合コープこうべ	お米 60 kg
11	3.12.17	澤 保子	お米 20 kg
12	4.2.10	日清食品(株)	鍋つゆ 600 個
13	4.2.15	生活協同組合コープこうべ	お米 50 kg
14	4.2.15	日清食品チルド°(株)	スープ° 300 個
15	4.3.1	日清食品(株)	鍋つゆ 480 個

### 3. 地域福祉事業

#### [1] 地区福祉委員会活動

地区福祉委員会は、住民が主体となって「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進めるために、概ね小学校区ごとに組織されており、池田市内の11地区に設置されています。大阪府の「小地域ネットワーク活動推進事業」により、11地区すべてが行政・福祉関係者などと連携しながら、グループ援助活動・個別援助活動に取り組んでいます。

今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動を中止することが度々ありました。その中でも、オンラインの活用など、今できる工夫を重ねた地域福祉活動に取り組むとともに、誰もが住みよいまちづくりの推進に取り組ましました。

##### (1) 活動支援業務

(回)

運営に関する相談	企画	会議・研修・活動参加	地区活動の対応	広報	研修(講師)依頼関係	地区以外の問い合わせ	その他	合計
177	444	121	492	99	112	76	311	1,832

##### (2) 各地区福祉委員会の活動

秦野	委員長	奥村 都志子	委員数	75人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし秦野」54号55号(各5,900部)全戸配布 「秦野地区福祉委員会紹介」(1,200部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(3か所)		らくだクラブ	
子育て	子育てサロン		ラ・クーダのイベントに協力	
青少年	登校見守り			
障がい	クリーンウォーク		アルミ缶回収に協力	
見守り	組織的な見守り・声かけ			
委員研修	「今どきの高齢者住宅」施設見学			
市民研修	消費生活センター「わたしたちのノート」			

北豊島	委員長	大井 文夫	委員数	71人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉きたてしま」発行(5,400部)全戸配布			
高齢者	手作りカード配布		ふれあいサロン(4か所)	
	敬老お祝品配布			
子育て	子育てサロン		LINE 配信活動(オンラインサロン)	
その他	男性料理教室レシピ・手紙配布		バザー手作り準備の会	
見守り	組織的な見守り声かけ			

細河	委員長	平田 裕司	委員数	28 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくしほそかわ」66・67号(各 1,600部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
子育て	子育てサロン			

石橋南	委員長	西岡 義晃	委員数	39 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし石橋南」52号(5,600部)全戸配布 特別号(500部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	お見舞い品配布		
子育て	子育てサロン			
世代間	石橋南小生徒へプレゼント配布			
障がい	クリスマスプレゼント配布			
その他	清掃活動			
見守り	組織的な見守り声かけ			

緑丘	委員長	高木 多嬉子	委員数	24 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「みどり」38号 39号(各 4,230部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)			
子育て	子育てサロン			
世代間	おしゃべりサロン			
その他	男性料理教室			

呉服	委員長	尾川 由紀恵	委員数	70 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉くれは」103号(6,380部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(2か所)	自治会・町会単位のふれあい活動		
子育て	子育てサロン			
青少年	下校時見守り			
世代間	おしゃべりサロン			
見守り	組織的な見守り声かけ			

石橋	委員長	村田 美代子	委員数	43 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉いしばし」(4,400部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン	愛の一声運動		
子育て	子育てサロン	LINE 配信活動(オンラインサロン)		

青少年	石橋小児童の登校見守り	
世代間	おしゃべりサロン(2か所)	
	高齢者への年賀状(石橋小6年生の協力)	
その他	清掃活動	バルマーク整理活動
	ワンコイン・ヨガ(つながり・支え合い活動推進事業)	
見守り	組織的な見守り声かけ	災害時要支援者訪問

神田	委員長	上島 守	委員数	61人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	「会員だより」(700部)会員配布			
高齢	ふれあいサロン	安否確認		
	おかわりないですか?活動	ハートフル神田クリスマスカード配布		
	歳末見舞品配布			
子育て	子育てサロン			
青少年	校区内パトロール			
世代間	おしゃべりサロン「ほっこりサロン」(つながり・支え合い活動推進事業)			
その他	ラジオ体操の協力			
見守り	組織的な見守り声かけ			

五月丘	委員長	村上 喬	委員数	18人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「福祉さつきがおか」(2,950部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン	餅配布		
子育て	子育てサロン			
その他	健康体操			

池田	委員長	久谷 邦夫	委員数	67人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「池田校区ふくし」55号(7,800部)56号(8,000部)全戸配布			
高齢	ふれあいサロン(3か所)	はがき配布		
	配食	塩あめとお茶配布		
	お菓子配布			
子育て	子育てサロン			
青少年	池田小登校時見守り			
世代間	おしゃべりサロン	チョット!おいでやす		
	カラオケサロン	涼みにきてや		
	秋のひと時ほっこりしませんか	ハロウィンイベント		
	クリスマス撮影会			
その他	男性料理教室			花コマ配布

見守り	組織的な見守り声かけ	
委員研修	夏期研修	秋期研修
市民研修	傾聴講座	

伏尾台	委員長	野口 修	委員数	55 人
<b>【事業内容】</b>				
広報啓発	広報紙「ふくし伏尾台」12月1日号2月1日号(各2,300部)全戸配布 ホームページ「伏尾台で暮らす。」に掲載			
高齢	ふれあいサロン		いきいき百歳体操	
	カーボランテア		ウォーキングの会	
	ワンコインたすけあい		車いす貸出	
子育て	子育てサロン			
青少年	青パト事業		登下校時見守り隊	
	花いっぱいプロジェクト事業協力		ほそごう学園「人権総合学習」協力	
	スマイルファクトリー芋ほり協力			
世代間	おしゃべりサロン(4か所)		夏休みラジオ体操	
	フリーマーケット			
障がい	散歩とおしゃべり会			
その他	ラジオ体操(3か所)		清拭布づくり	
	花の会		清掃活動	
見守り	組織的な見守り声かけ			

### (3)地区福祉委員長会

各地区福祉委員会から代表者が集まり、社協からの情報提供と地区間交流などを図りました。

回	年月日	主 な 議 題	出席者(人)
1	3.6.16 (5月開催を延期し、6月に実施)	① 令和3年度委員長会会長・副会長の紹介 ② 令和3年度つながり・支え合い活動推進事業助成金について ③ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ④ 第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動計画策定委員会について ⑤ 情報共有(各地区の活動状況について)	17
2	3.7.15	① 令和3年度つながり・支え合い活動推進事業助成金について ② 「食でつながる共生のまちいけだ」について ③ 情報共有(各地区の活動状況について)	18
3	3.9.16	① 社協会員会費について ② 令和3年度つながり・支え合い活動推進事業助成金の交付について ③ 赤い羽根共同募金街頭募金のお願い ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について	19

		⑤ 小地域ネットワーク活動推進事業助成金の交付について ⑥ 第4期池田市地域福祉計画・第5次池田市地域福祉活動計画に関するアンケートについて ⑦ 情報共有(各地区の活動状況について)	
4	3.11.18	① 社協会費還元金交付について ② 赤い羽根共同募金街頭募金の報告、歳末たすけあい街頭募金のお願い ③ 池田市 いけだ医療介護ナビのサロン情報の掲載について ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ 小地域ネットワーク活動推進事業助成金の傾斜配分について ⑥ 地域におけるひきこもり支援を考える地区福祉委員会研修会開催について ⑦ 今後の予定、資料について ⑧ 情報共有(各地区の活動状況について)	17
5	4.1.20	① 歳末たすけあい街頭募金報告 ② 令和3年度社協会費還元金交付について ③ 令和3年度事業報告書・決算書、令和4年度事業計画書・予算書 ④ 「食でつながる共生のまちいけだ」について ⑤ にじの会について ⑥ 第5次地域福祉活動推進計画における住民懇談会の開催について ⑦ 情報共有(各地区の活動状況について)	15
6	4.3.17	① 社協会費還元金交付について ② 第5次地域福祉活動推進計画における住民懇談会について ③ 小ネットかわら版 22 号の配布及び「食でつながる共生のまちいけだ」の事業について ④ 情報共有(各地区の活動状況について)	18

## [2] 小地域ネットワーク活動推進事業

大阪府と市の補助事業として行っている本事業は、地区福祉委員会単位で、地域に住む要援護者が安心して生活できるように、地域住民による助け合い活動を展開し、あわせて地域における福祉の啓発と住みよい福祉のまちづくりを進めるものです。

具体的な方法として、地区福祉委員会で進める個別援助活動とグループ援助活動があり、社協はその推進を援助しています。

### (1)各地区の活動状況

#### ○グループ援助活動

	ふれあいサロン		子育てサロン		おしゃべりサロン		男性料理		世代間交流		障がい者(児)		昼食会		その他	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
秦野	13	230	8	214	0	0	0	0	0	0	1	20	0	0	3	48

北豊島	16	1,870	13	632	0	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0
細河	8	58	2	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	13	97	5	146	0	0	0	0	17	450	1	25	0	0	0	0
緑丘	15	323	6	10	6	28	5	30	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	7	31	4	40	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋	5	135	10	257	11	71	0	0	1	110	0	0	0	0	0	0
神田	36	339	13	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五月丘	6	45	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	565
池田	18	201	5	4	20	154	2	14	2	84	0	0	0	0	6	2,286
伏尾台	144	1,296	3	16	15	106	0	0	7	357	1	7	0	0	321	4,807
合計	281	4,625	73	1,465	54	372	8	57	27	1,001	3	52	0	0	378	7,706

○個別援助活動

(人)

	対象者数	活動者数	見守り・声かけ	外出介助	買い物	家事援助	配食	その他
秦野	154	34	6,527	2	20	104	307	4
北豊島	259	41	3,179	12	9	0	0	3
細河	0	0	0	0	0	0	0	0
石橋南	907	40	1,728	2	7	0	4	2
緑丘	0	0	0	0	0	0	0	0
呉服	755	74	2,565	20	22	42	212	212
石橋	48	13	2,436	51	375	592	300	0
神田	427	17	1,353	12	0	4	3	17
五月丘	0	0	0	0	0	0	0	0
池田	360	59	5,832	38	118	23	103	37
伏尾台	146	35	956	914	4	36	3	113
合計	3,056	313	24,576	1,051	555	801	932	388

(2)小地域ネットワーク活動推進委員会

年月日	主な内容	参加者(人)
4.1.31	正副委員長の選出について * 新型コロナウイルスの感染拡大防止(まん延防止等重点措置期間中)のため、書面審議	16

### (3) 「地域におけるひきこもり支援を考える」地区福祉委員会研修会

近年増加傾向にある、ひきこもりなどの孤立や孤独を抱える方々の様子が、地域の中では見えにくく、接点も持ちづらいという新たな課題に直面しています。そのため、まずは当事者の声や思いを知ろうと、困難を抱える若者支援に取り組まれている支援者と、ひきこもりを経験された元当事者を講師に迎え、標記研修会を開催しました。そして、福祉委員会以外にも、民生委員児童委員、関係機関・団体にも呼びかけ、地域におけるひきこもり支援を共に考える機会を作りました。また、感染対策として、会場・オンライン双方の形で実施しました。

年月日	場 所	受講者(人)	内 容
4.1.31	池田商工会議所	77 会場:24 オンライン:53 (Zoom/YouTube)	「家族の実情と本人の思い」 NPO 法人クラウドナイン 理事長 小林将元 氏 元当事者2名

### (4) 広報啓発活動

- ホームページによる周知
- 子育てサロン MAP の発行
- 公式 YouTube チャンネルでの動画公開
  - ・石橋地区子育てサロン「みんなであそぼう」(手遊び・ふれあい遊び) 1回
  - ・北豊島地区子育てサロン「おうちであそぼう」(手遊び・ふれあい遊び等) 9回
- 小ネットかわら版特別号 1～5号 食でつながる共生のまち通信発行(各 600部)
 

コロナ禍で委員や関係機関の会議ができない日々が続く中で、小地域ネットワーク活動にもつながる、「食でつながる共生のまちの事業」の取り組みや大切な視点を伝えようと、2か月に1回の発行を続けました。
- 小ネットかわら版の発行(1,000部)
 

小地域ネットワーク活動を推進している地区福祉委員会や関係者に対し、活動目的について共通認識を持ってもらうとともに、各地区の実践事例を紹介し、活動の参考にしてもらうために発行しました。また、食でつながる共生のまち通信の最終号(第6号)も掲載しました。

号	年月日	主 な 内 容
特別号1	3.6.1	食でつながる共生のまち通信 1 「今こそ、つながり・支え合いのまちづくりを共に」 ・フードパントリー(食品の配布会)開始(神田地区・石橋地区) ・フードドライブを身近な場所に(石橋地区) ・手作りお弁当を届けます(配食事業・作業の会「せん」・見守り声かけ)
特別号2	3.7.8	食でつながる共生のまち通信 2 「食」を通じて広がる共生の輪 ・池田地区福祉委員会で、フードパントリーが始まりました ・あたたかな支援の輪が拡大中(ハッピークラブ NPO 法人フードパントリー、パントリーボランティア) ・配食活動(いけだ地域栄養士会葉菜の会、2層ボランティア、配達ボランティア、お弁当を受け取った方からの声)

特別号 3	3.9.10	食でつながる共生のまち通信 3 「みんなでつくる、共生のまち池田」 ・フードドライブ報告(トアエル、五月丘地区コミュニティ推進協議会事務所、ダイエー池田駅前店、ふーどばんく OSAKA、日清食品、コープこうべ等) ・池田こども食堂さくらの協力 ・フードパントリー、さらに増えます(石橋南地区) ・新たな居場所を作ります(池田地区) ・時に支えられ、時に支える。広がる、あたたかなつながり(作業の会「せん」、石橋地区)
特別号 4	3.11.5	食でつながる共生のまち通信 4 「合わさる力、つながる池田の力！」 ・フードドライブ報告(細河地区、ダイエー池田駅前店、北豊島小学校) ・フードパントリー実施報告(秦野地区、緑丘地区、北豊島地区) ・フードパントリー参加者アンケート調査報告
特別号 5	4.1.17	食でつながる共生のまち通信 5 「この先も、共生のまちいけだを目指して」 ・フードドライブ報告(五月山教会幼稚園) ・お弁当でつながる支え合いの輪(配食活動報告・参加者の声) ・フードパントリー実施報告(呉服地区) ・令和4年度のフードパントリーについて
22	4.3.14	「共生のまち いけだを目指して」 ① 食でつながる共生のまち通信 6 最終号 1. フードパントリー(全10地区+2か所) 2. フードドライブ(全11地区・企業・団体11・市民) 3. 配食(調理・配達) 4. 作業の会「せん」 ② 「地域におけるひきこもり支援を考える」地区福祉委員会研修会 ③ 「だれもが安心して暮らせるまちづくり」小地域ネットワーク活動 ④ 令和3年度の活動報告(北豊島地区/オンライン・子育てサロン池田地区/見守りとサロン・人と人とのつながり)

### [3] つながり・支え合い活動推進事業

年齢、障がいなどに関係なく、だれもが参加できる出会いの場、住民同士の出会いとつながり、支えあいの場を増やすこと、また、その活動が継続的に推進できるよう、平成30年度に創設しました。

地区名	名称・開催日時	年間回数	延べ人数	
			参加者	スタッフ
神田	「ほっこりサロン」 毎月第3(木)10:00～11:00	7	115	20
石橋	「ワンコインヨガ」 毎月第1(木)9:15～10:30	12	128	24

## 4. ボランティアセンター事業

### [1] ボランティアセンター

ボランティア活動をしたい方とボランティアに来てほしい方や団体をコーディネートするとともに、ボランティアの育成や啓発などを行いました。

#### (1) 需給調整業務

##### ① 内容別件数 (件)

活動希望	活動依頼	相談・問い合わせ	その他
36	33	598	123

##### ② ボランティア活動希望者内訳

###### (A) 年齢・男女別 (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	0	2	1	0	0	2	1	2	8
女	4	2	1	1	7	6	3	4	28
計	4	4	2	1	7	8	4	6	36

###### (B) 希望内容(複数回答) (件)

	活動内容分類	件数	主な内容
1	何か役に立つ活動をしたい	20	自分にできることなら何でも、掃除など
2	趣味・特技をいかした活動	12	マジック披露・楽器演奏披露
3	保育・子どもに関わる活動	5	保育V、フリースクール、子ども食堂など
4	高齢者に関わる活動	4	高齢者施設でのお手伝い、傾聴活動
5	国際関係活動	4	外国人にかかわること日本語Vなど
6	障がい者に関わる活動	3	障害者施設のお手伝い、手話Vなど
	合計	48	

###### (C) 登録ボランティア延べ人数 (人)

	個人	グループ	合計
男	28	199	227
女	47	401	448
計	75	600	675

##### ③ ボランティア活動依頼内訳

###### (A) 依頼者数

###### <個人> (人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
男	0	0	0	0	0	0	0	1	1
女	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	0	0	0	0	0	0	2	2

<団体>

(件)

ボランティア グループ ・団体	福祉施設	行政機関	包括	支援 学校	学校	医療 機関	その他	合計
8	9	1	1	0	7	0	5	31

(B)依頼内容

(件)

依頼内容	件数	主な内容
外出	0	
通院・通所・通学介助	0	
外出・旅行介助	0	
運転ボランティア	0	
生活介助	2	
家事援助・身体介助	1	庭の掃除や買い物代行
入浴・入浴後の介助等	0	
その他	1	施設利用者の散髪
友愛活動	17	
保育・遊び相手	3	絵本読み聞かせ、イベント開催時の保育など
話し相手・安否確認	5	施設入所者の傾聴、話し相手
イベント手伝い	2	夏祭りの縁日イベントのお手伝い
出し物披露	2	施設のマジック披露、楽器演奏
将棋・囲碁などゲーム相手	1	将棋の指導
その他	4	子ども食堂、散歩時の補助など
技能提供	7	
朗読・点訳・拡大本	1	知的障がいがある児童への拡大写本
手話・筆記通訳	4	手話指導など
作業手伝い	1	草抜き
日曜大工	0	
日本語指導	0	
手芸・書道・折紙・体操等 の指導	1	施設でのおりがみボランティア
その他	0	
小計	26	
その他	7	4年視覚障がい者交流授業:3校(内オンライン授業1校)、2年生聴覚障がい者交流事業:2校、ボランティアについての授業:2校
合計	33	

## (C)対応状況

(件)

依頼対応状況	件数
ボランティア紹介	23
制度等紹介	2
取り下げ	5
調整中	1
調整つかず	2
ボランティアと認められない	0
その他	0
合 計	33

## (2)ボランティア講座・研修会

講座名	実施日・期間	場所	受講者数	内容
手話ボランティア講座 (入門)	7/1～11/8 毎週月曜日 計 18 回	市保健福祉 総合センター	3	基礎的な手話の理論・技術を学び、手話ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師：沼 順子氏
手話ボランティア講座 (基礎)	7/5～1/17 毎週木曜日 計 23 回	共同利用施設池田駅前 北会館	5	基礎的な手話の理論・技術を学んだものが、さらなるレベルアップを図るための知識と技術を身につけ、ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師：木村 宏氏、谷 順子氏
要約筆記ボランティア講座	10/4～ 10/25 毎週月曜日 計 4 回	市保健福祉 総合センター	9	基礎的な要約筆記の理論・技術を学び、要約筆記ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師：武縄 睦美、 いけだ筆記通訳グループ「すみれ」
音訳ボランティア講座	7/8～9/16 毎週木曜日 計 9 回	市保健福祉 総合センター	16	基礎的な音訳の理論・技術を学び、音訳ボランティア活動へと結びつけることを目的に開催 講師：日本ライトハウス、池田声の図書
ボランティア きっかけ講座	3.10.13	市保健福祉 総合センター	1	これからボランティア活動を行おうとする方 に対しての入門講座を開催 講師：センターボランティアコーディネーター
	3.11.9		1	
	3.12.18		2	

## (3)広報啓発

## ①ボランティアセンター情報「ふれあい」

ふれあい編集ボランティアによる編集会議(2回開催)と編集作業を実施しました。池田市広報への折り込みとともに公共施設、学校等へ配布しました。各号 53,100 部発行しました。

号	発行日	主な内容
88	3.5.1	1. ボランティアグループ「ひつじ」紹介 2. 収集ボランティア、フードボランティア募集、 3. ボランティア講座のお知らせ 4. ボランティア募集・グループからのお知らせ
89	3.10.1	1. フードボランティア (フードパントリー、フードドライブ、お弁当配達ボランティアの紹介) 2. ボランティア講座、ダイエー入り口設置ラックについてなどのお知らせ 3. ボランティア講座のお知らせ 4. ボランティア募集・グループからのお知らせ
90	4.2.1	1. ボランティアグループ「古布の会」紹介 2. 「古布の会」の活動の様子 3. ボランティアセンターからのお知らせ (心をつなぐ電話、新グループ「スポイの会」紹介、寄付・募集) 4. ボランティア募集・グループからのお知らせ

## ②センターホームページの運営

定期的に更新を行い、市民へのボランティア情報提供を行いました。

今後は池田市社会福祉協議会のYouTubeチャンネルで活動の情報提供を検討する予定です。

## ③Facebookの掲載

作業の会「せん」等、ボランティア募集をFacebookにて行いました。

## ④登録ボランティアへのメール配信

フードパントリーや配食のボランティアについて、センター登録ボランティアの方々へメール等でボランティアの募集をしました。

## ⑤チラシの作成とラックへの配架

センター収集物について、作業の会「せん」、心をつなぐ電話のチラシを作成しました。社会福祉協議会の窓口ラックにチラシを配架、ダイエー池田駅前店にご協力いただき、「池田市ボランティアセンター登録ボランティアグループ一覧」とボランティア募集チラシを配架しました。

## (4)登録ボランティアグループ・ボランティア連絡会への支援

センター登録34グループ並びにボランティア連絡会に対し、以下の内容について支援を行いました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ運営や助成金申請などの相談</li> <li>・センター分室の貸出(52件)</li> <li>・コピー機の貸出(有料)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡BOXとロッカーの貸出</li> <li>・備品貸出(OHP、パソコンなど)</li> <li>・グループのメンバー募集や活動・イベントのPR</li> </ul>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(5)会議等の開催状況

①ボランティアセンター運営委員会

センターの活動、運営について協議検討を行いました。

年月日	主 な 議 題	参加者(人)
3.12.3	令和3年度上半期事業報告ほか	10

センター登録ボランティアグループ一覧 (令和4年3月現在 34団体)			
種類	グループ名	種類	グループ名
高齢者	池田傾聴「さつき」	収集・リサイクル	古布の会
	傾聴ボランティア「心の倉庫」		てるてるBOOK
	ちゑの輪	国際交流	池田日本語ボランティア友の会
	たのしいおりがみ		虹のぼけっと 外国人サポート協会 スポイの会
高齢者・障がい者	ひつじ	音楽などの披露	池田アマチュアマジシャンズ
視覚障がい者	点訳サークル「むつらぼし」		メロディ
	拡大写本グループ「アイリス」		むじかぞく
	池田声の図書		ナツメロンズ
	パソコン点訳会	NPO 法人若葉会	
聴覚障がい者	手話サークル「アゼリア」	その他	園芸ボランティア「パンジー」
	ダイハツ手話部		池田サラリーマンOB会
	手話サークル「秋桜」		池田分かち合いの会ひかり
	ボランティアサークル「フレンド」		NPO 法人オアシス
	いけだ筆記通訳グループ「すみれ」		シルバーアドバイザーいけだ
	子ども		保育ボランティア「だっこ」
学生	宣真ボランティアサークル		NALCわかばの会池田
			スペース縁@池田

(6)収集活動

以下のものをセンターで収集し、各団体へ提供しました。

収集物	提供先	目的
毛糸、ハンカチ ネクタイ	ひつじ	作品を作成・販売し、障がい者との クリエイション費用などへ

古布	古布の会	病院や施設利用者の清拭布として
ベルマーク	ベルマーク教育助成財団	養護・盲・聾学校および小規模校、または、災害被災校へ寄付として
古切手	社会福祉協議会主催 居場所「つむぎ」	整理し、収集会社へ買い取っていた だき、活動運営費に充てていく予定

#### (7) ボランティア総合補償制度受付

ボランティアや非営利有償活動中におこる様々な事故において、活動者を補償する保険の受付業務を行いました。

保険種類	取扱人数 (人)
ボランティア活動保険	2,024
ボランティア・市民活動行事保険	8,985
非営利・有償活動団体保険	89
移送中事故傷害保険	0
合 計	11,098

## [2] 福祉教育の推進

児童・生徒の福祉意識を高めるために、学校での福祉教育を推進するため、市教育委員会と連携しながら、研修会や交流会・相談などを実施しました。

#### (1) 学校への講師・ボランティアの派遣調整

市内小・中・高校教員からの要請により、福祉・ボランティア関連授業に対し、指導案や講師の調整、職員派遣などを行いました。

学年	実施校数 (校)	依 頼 内 容
小学 2 年生	2	聴覚障がいがある方による話・交流、手話指導
小学 4 年生	3	視覚障がいがある方による話・交流、ガイドヘルプ体験、点字指導
高校 3 年生	2	ボランティア活動についての講演

#### (2) 相談業務

市内小・中・高校教員との、福祉・ボランティア関係授業内容の相談などを行いました。

### (3)池田市教職員研修会

市教育委員会学校教育推進課と共催で、教職員向けの福祉教育・ボランティア学習の研修会を開催しました。

年月日	場 所	受講者(人)	内 容
3.10.28	教育センター	15	「学校でどのように福祉教育を教えるのか」 日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林洋司氏

## 5. ファミリー・サポート・センター事業

地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、有償で助け合う相互援助の会員組織である「いけだファミリー・サポート・センター」事業を、池田市からの委託事業として平成13年度から立ち上げてサービスを開始し、今年度も引き続き事業を実施しました。

2人配置されているアドバイザーは、サービスの依頼があると、近隣の援助者を探して事前に両者を引き合わせ(事前打ち合わせ)、双方が納得すればサービスが開始されます。

今年度も去年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により活動が例年より少なく、講習会も一部中止せざるを得ない状況になりました。

### (1) 事業実績(令和3年4月～令和4年3月)

・新入退会者数 (人)

	依頼会員	援助会員	両方会員	合 計
入会者数	74	16	12	102
退会者数(-)	85	9	7	101
前年からの継続会員数	597	229	68	894
合 計	586	236	73	895

・事前打ち合わせ・活動件数・活動回数・活動時間

事前打ち合わせ件数	活 動 件 数	活 動 回 数	活 動 時 間
51 件	226 件	539 回	1,181.5 時間

・活動内容別回数と時間

活 動 内 容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保育所・幼稚園の送り	3	15	15.0
保育所・幼稚園の迎え	30	75	92.0
保育所・幼稚園の送迎	0	0	0.0
保育所・幼稚園の登園前・帰宅後の預かり	14	22	39.0
留守家庭児童会の送り	10	64	65.5
留守家庭児童会の迎え	11	23	37.5
留守家庭児童会の送迎	0	0	0.0
留守家庭児童会の登園前・帰宅後の預かり	5	15	29.5

児童の送迎	39	110	159.0
児童の預かり	23	69	302.0
子どもの病後時の援助	0	0	0.0
保育所・学校等休み時の援助	4	8	31.0
保育所等施設入所前の援助	2	4	6.0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0.0
保護者等求職中の援助	0	0	0.0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	7	13	22.0
保護者等の買い物等外出の場合の援助	53	90	283.5
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	12	15	45.5
その他	13	16	54.0
合 計	226	539	1,181.5

## (2) 広報啓発活動

センター事業の趣旨を市民に周知するために、PR活動を積極的に推進しました。

### ・機関紙の発行

会員への情報提供と交流を目的として、機関紙「FAMILY SUPPORT 通信」第41号、第42号各1,000部を発行し、会員と関係者に配布しました。

### ・「広報いけだ」に会員募集記事掲載

「広報いけだ」に会員募集記事を掲載し、会員確保に努めました。

### ・1歳半健診での説明

毎月実施される1歳半健診で、センター事業の紹介を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できませんでした。

## (3) 講習会・交流会

子どもの心身の発達に関する基礎知識と保育の留意点や事故予防についての知識を習得するための会員向け講習会を実施しました。

去年度、新型コロナウイルス感染拡大の影響で救命救急講習会が実施できなかったため、今年度1回目は日本赤十字社の赤十字幼児安全法短期講習会をいけだファミリー・サポート・センター救命救急講習会とみなし、実施しました。

また、イベントを通して会員同士の親睦を図り、情報交換や意見交換を行う場として、交流会を開催しました。

(人)

名 称	年月日	場 所	内 容	参加者数
第1回 会員基礎 講習会	3.8.2	池田市 保健福祉 総合センター 作業室 (8/23は健康 教育室)	中止	
	3.8.23		○心の発達とその問題 講師：池田市発達支援課 心理相談員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師：池田市子育て支援課 保育士	5 (保育：2)
	3.9.2		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師：池田市健康増進課 保健師	4 (保育：1)

第2回 会員基礎 講習会	3.10.4	池田市 保健福祉 総合センター 作業室	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員 ○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会 管理栄養士	4 (保育:2)
	3.10.18		○心の発達とその問題 講師:池田市発達支援課 心理相談員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	3 (保育:2)
	3.10.28		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課 保健師	3 (保育:1)
第3回 会員基礎 講習会	3.12.6	池田市 保健福祉 総合センター 講習会室	○保育の心 ○子育て支援サービスを提供するために 講師:池田市社協 職員 ○子どもの栄養と食生活 講師:いけだ在宅栄養士会 葉菜の会 管理栄養士	5 (保育:0)
	3.12.20		○心の発達とその問題 講師:池田市発達支援課 心理相談員 ○子どもの世話 ○子どもの遊び 講師:池田市子育て支援課 保育士	4 (保育:1)
	3.12.23		○身体の発達と健康管理 ○安全・事故 講師:池田市健康増進課 保健師	4 (保育:1)
第1回 救命救急 講習会	3.10.11	池田市 保健福祉 総合センター 健康教育室	○乳幼児の一次救命処置 ～赤十字幼児安全法短期講習会～ 講師:日本赤十字社大阪府支部指導員	4 (保育:1)
第2回 救命救急 講習会	4.1.19	池田市 消防本部	○いざというときに慌てないために ～普通救命救急講習会～ 講師:池田市消防本部 救急担当	5 (保育:0)
会員交流会	3.11.29	池田市 保健福祉 総合センター 健康教育室	・リボンで可愛い小物を作ろう 講師:アトリエ イロドリ 三木 美里さん	大人11 子ども3

※いずれの講習会・交流会も一時保育あるいは、子ども同伴可。

#### (4) 池田市子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)給付事業利用状況

〔(1)の実績に含まれるものの中から抜出〕

池田市が保護者の育児不安及び負担を軽減し、育児疲れをリフレッシュすることで育児に前向きに取り組めるよう、満1歳から満3歳までの子どもの保護者に子育て一時預かり利用券(ふくまる子ども券)を配布する事業で、平成23年10月から開始されました。ファミリ

一・サポート・センターも一時預かり事業者として登録し、事業に協力しました。

・活動内容別回数と時間

活 動 内 容	件数(件)	回数(回)	時間(時間)
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	0	0	0.0
保育所等施設入所前の援助	2	4	6.0
保護者の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	1	2	6.0
保護者等の買い物等外出の場合の援助	25	33	122.5
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	3	7	21.5
その他	8	11	34.5
合 計	39	57	190.5

## 6. 日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活がおくれるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものです。

援助の内容は、対象者の福祉サービス利用の手続きや利用料の支払(福祉サービスの利用援助)、年金受領や医療費・税金等の支払手続き(日常の金銭管理サービス)、年金証書・預貯金の通帳などを預かるサービス(書類等預かりサービス)があります。

(1)問い合わせ・相談援助件数 (件)

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他		
問合せ件数	14	0	3	3	2	22
初回相談件数	19	2	10	0		31
相談援助件数	373	188	389	0		950
合計	406	190	402	3	2	1,003

(2)契約・終了件数 (人)

対象者 事項	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合 計
昨年度末契約者数	5	3	10	0	18
今年度契約者数	7	2	1	0	10
今年度終了数	5	0	1	0	6
年度末契約者数	7	5	10	0	22

## (3)生活支援員活動件数(契約後活動件数) (件)

事項	対象者	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	その他	合計
	総活動件数		298	171	329	0
	うち生活保護 受給者分	110	38	166	0	314

## (4)広報啓発活動

○「いけだの社協」10月1日号に掲載

## 7. 大阪府生活福祉資金貸付事業

大阪府社会福祉協議会からの委託により、大阪府生活福祉資金貸付事業の相談・受付業務を行いました。また、前年度に引き続き新型コロナウイルス特例の緊急小口資金、総合支援資金を実施しましたが、総合支援資金の延長貸付は令和3年8月に、再貸付は同年12月にそれぞれ受付を終了しました。

## (1)福祉資金・教育支援資金

	申 込		貸付決定		備 考	
	件数	金 額	件数	金 額		
福祉資金	2 件	159,000 円	1 件	69,000 円	1 件は 決定取消	
教育支 援資金	教育支援費	1 件	520,000 円	1 件	520,000 円	
	就学支度費	0 件	0 円	0 件	0 円	
合計	3 件	679,000 円	2 件	589,000 円		

## (2)緊急小口資金

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
1 件	100,000 円	1 件	100,000 円	

## (3)総合支援資金

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
1 件	450,000 円	1 件	150,000 円	申込者就労により減額

## (4)要保護世帯向け不動産担保型生活資金(特例)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
1 件	— 円	0 件	— 円	申込者より取下げ

## (5)緊急小口資金(特例)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
340 件	66,600,000 円	333 件	65,300,000 円	不承認6件 取下げ1件

## (6)総合支援資金(特例)

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
342 件	182,450,000 円	334 件	177,750,000 円	不承認7件 取下げ1件

## (7)総合支援資金(特例延長)※令和3年8月末まで受付

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
98 件	52,500,000 円	96 件	51,300,000 円	不承認 2 件

## (8)総合支援資金(特例再貸付)※令和3年12月末まで受付

申 込		貸付決定		備 考
件数	金 額	件数	金 額	
402 件	215,250,000 円	394 件	211,050,000 円	不承認8件

※臨時特例つなぎ資金・不動産担保型生活支援資金(土地担保)・生活復興支援資金は、申込・貸付なし。

## (9)相談件数(来所・電話)

(人)

福祉資金・ 教育支援資金	緊急小口 資金	緊急小口 資金 (特例)	総合支援 資金	総合支援 資金 (特例)	臨時特例 つなぎ	不動産 担保	生活復興	合計
119	16	871	24	1,287	0	10	0	2,327

## 8. コミュニティソーシャルワーカー設置事業

コミュニティソーシャルワーカー(CSW)設置事業は、地域包括支援センターの圏域(4 圏域)にそれぞれ4人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域において、援護を要する高齢者、障がい者、子育て中の親などとその家族等への支援を地域福祉活動のネットワーク化を行い、また、同時に要援護者等の自立生活支援のために基盤づくりを行うなど、地域福祉の向上に努めました。

## (1)CSW の配置拠点と担当小学校区

区 分	担当小学校区	配置拠点
池田市北部	秦野小・ほそごう学園校区	社協
池田市中部	五月丘・池田小学校区	
池田市西部	緑丘・呉服・神田小学校区	
池田市南部	北豊島・石橋南・石橋小学校区	

## (2)地域福祉の計画的な推進及びセーフティネット体制づくり (回)

活動内容	北 部	中 部	西 部	南 部	計
市町村地域福祉計画の支援	0	0	0	5	5
住民懇談会の開催	0	0	0	0	0
住民活動のコーディネート	1	0	0	14	15
要支援者等の組織化支援	0	0	0	0	0
既存の公的サービス等との協働	12	21	16	316	365
研究・開発した新たなサービス	0	0	0	2	2
ケース検討会議	4	3	1	27	35
地域住民を対象とする研修会	3	4	4	9	20
各種サービスの利用申請支援	2	23	3	29	57

## (3)支援を必要とする人等に対する見守り・相談

## ○コミュニティソーシャルワーカーの各種研修会・視察等参加状況

適切な支援サービスの存在や利用方法等に関する情報提供及び利用啓発を行うために、CSW養成研修への参加やひきこもりなどについての視察・研修などを行いました。

## ○支援を必要とする人などからの相談

支援が必要な人からの相談を受け、状況を整理し、必要な制度やサービス、また、地域で活動する民生委員や地区福祉委員につなぎました。また、制度・サービスにつながらにくいケースや制度・サービスの狭間にあるケースなどについても、相談に応じ、課題解決に向けて積極的に活動を行いました。

また、LINE を使い、相談窓口機能や連絡手段として活用しました。

## ①相談対象者別

(件)

相談対象者	相談件数(延べ)				
	北部	中部	西部	南部	計
高齢者	104	115	121	289	629
(うち)ひとり暮らし高齢者	11	93	30	4	138
(うち)高齢者のみの世帯	0	10	2	91	103
障がい者	362	228	181	633	1,404
(うち)身体障がい者	1	14	4	5	24
(うち)知的障がい者	123	0	44	239	406
(うち)精神障がい者	238	214	133	389	974
子育て中の親子	142	66	99	102	409

一人親家庭の親子	137	65	94	430	726
青少年	111	87	62	232	492
DV(ドメスティック・バイオレンス)被害者	0	1	13	3	17
ホームレス	0	0	0	1	1
外国人(中国帰国者を含む)	0	0	0	1	1
その他	61	15	257	962	1,295
合 計	917	577	827	2,653	4,974

②相談内容別 (件)

相談内容	相談件数(延べ)				
	北部	中部	西部	南部	計
福祉制度・サービスに関する相談	29	127	112	400	668
生活に関する身近な相談	266	262	256	850	1,634
健康・医療に関する相談	94	139	146	336	715
生活費に関する相談	219	132	32	161	544
就労に関する相談	151	14	69	258	492
財産管理・権利擁護に関する相談	0	3	0	107	110
消費者被害に関する相談	0	0	0	2	2
多重債務に関する相談	2	2	12	69	85
DV・虐待に関する相談	16	1	8	14	39
地域福祉活動・ボランティア活動に関係する相談	55	24	42	218	339
住宅に関係する相談	3	75	41	179	298
子育て・子どもの教育に関する相談	27	70	63	150	310
その他	7	4	39	1	51
合 計	869	853	820	2,745	5,287

(4)居場所「つむぎ」

課題を抱えた当事者やその家族、住民、関係機関が集まる居場所「つむぎ」を設置し毎月1回(8月休み)開設しました。

年月日	参加者(人)	年月日	参加者(人)
3.4.13	8	3.12.14	7
3.7.13	5	4.1.11	4
3.9.14	5	4.2.8	8
3.10.12	6	4.3.8	7
3.11.9	3		

※4.2.8 は、サポステ(地域若者サポートステーション)の説明会を実施

※5月、6月は、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止

### (5) しごと・ちいき体験事業

人との関わりの難しさや不安、経験の不足などから社会とつながりにくい若者に対して職業体験の場と地域活動体験の場を設け、社会経験を積み、社会との接点を増やす機会を提供できたらと、昨年度から検討を重ね、今年度実施しました。この事業により、自立に向けた環境を整えるとともに、対象者が自己肯定感を得て、孤立を防止し、地域社会とのつながりを得ることを目的としていることから、CSWによる、支援プランの策定やモニタリング、評価、フォローアップなども併せて実施しました。

対象者	20代女性(ひきこもり・無職)
年月日	3. 5. 18～3. 8. 31(3か月間)
場所	一般社団法人 イケダ大学(楽食ばんまい&Pane Sorriso)
体験報酬	1時間 500円(善意銀行事業)

### (6) 広報啓発活動

- 全地区民生委員児童委員定例会に出席。活動報告や役割、事例を説明
- CSW 活動報告集発行(500部)

## 9. 食でつながる共生のまちいけだ

コロナ禍で様々な生活上の変化が起こる中で、「食」という誰もが関わるものを通じてあたたかなつながりを感じる取組みを、市内全域で協力し合いながら、共にすすめるよう、大阪府福祉基金の助成を得て活動を続けました。

### (1) フードドライブ

- ・市内全11小学校区で開催
- ・その他、市民延べ245人、食品数2,870点、日用品73点、11企業・団体から20回にわたり食品3,637点の協力
- ・コープこうべやダイエー池田駅前店より、月2回定期的に食品提供

### (2) フードパントリー

- ・市内12カ所で計61回開催
- ・コロナ禍で生活が苦しくなっている方々3,477人に対し食糧支援を実施(参加者内訳:高齢者33%、40～64歳29%、子育て中の親13%、大学生・若者14%、小中学生11%)
- ・地区福祉委員会やボランティアセンター登録ボランティア延べ81人、民生委員児童委員協議会、子ども食堂やPTAなど多くの地域団体が協力
- ・毎回、開催予告のため関係各所へのチラシ配布と掲示板への掲示を依頼
- ・開催予告と開催報告を社協ホームページおよびFacebookに掲載

### (3) 配食

- ・月1回(12回)1回上限 50 食
- ・対象は、コロナ禍で生活に困窮している方、見守りやつながりづくりを必要と判断した方  
(延べ 514 人に配布)
- ・いけだ栄養士会葉菜の会8人や生活支援体制整備事業2層協議体メンバー等8人の協力で、  
手作りのお弁当を調理
- ・ボランティア等の協力で、配食・配達を実施

### (4) 作業の会「せん」

- ・計 15 回(月 1~2 回)開催し、親子、大学生、障がい者、高齢者など延べ 74 人の方々が参加
- ・フードドライブで集まった食品の仕分けや配食弁当につけるランチョンマット等の布製品を作成  
(参加者の場所としての役割も担う)

### (5) 心をつなぐ電話

- ・計 19 回活動し、対象者は 5 人
- ・コロナ禍で、寂しさや孤立感を抱えている方々に、ボランティアが定期的に電話で訪問し、安  
否確認とつながりをつくる活動を実施

### (6) 広報啓発活動

- ・食でつながる共生のまち通信を 6 回発行(小ネットかわら版の特別号として発行)
- ・各事業のチラシ・ポスターを毎月作成。(フードパントリーは英語表記も併せて発行)
- ・フードパントリーの開催 MAP 作成
- ・Facebook の活用
- ・フードパントリー動画作成及び YouTube 公開

## 10. 意思疎通支援事業

聴覚や音声、言語機能に障がいのある方で、公共機関に行くなどの日常生活のうえで必要な外出や、講演会や研修会などの各種行事に参加する場合にコーディネーターが相談を受け、手話通訳者や要約筆記者を派遣し、日常生活や社会参加を支援しています。

### (1) 登録通訳者数

登録通訳者数	
手話通訳者	要約筆記者
14 人	9 人

## (2) 利用状況

手 話 通 訊		要 約 筆 記	
利 用 者 数	派 遣 延 回 数	利 用 者 数	派 遣 延 回 数
5 人	52 回	5 人	64 回

## 11. 紙おむつ給付事業

在宅で常時紙おむつを使用されている高齢者に紙おむつの給付券を支給し、経済的な負担を軽減しています。池田市から委託を受けて実施しています。

### ・利用状況

対 象	利 用 者 数	利用累計月数
高 齢 者	101 人	805 月

## 12. 生活支援体制整備事業

高齢化が進む中、池田市に居住する高齢者が、住み慣れた地域で自立した日常生活がおくれるよう、地域の生活支援サービスを担う事業者、団体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制を充実していくとともに、高齢者の社会参加の活動を一体的に推進し、構築していきます。

池田市からの受託事業として、平成28年11月より開始しました。第1層生活支援コーディネーターを社協に配置し、4包括圏域に第2層生活支援コーディネーターを配置しています。

今年度は、緊急事態宣言が発令される中、新しい生活様式で、3密を回避しながらの活動となりました。

### (1) 第1層地域支え合い推進協議体委員会の開催

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者 (人)
1	3.7.21	市保健福祉 総合センター 健康教育室	① 新メンバー自己紹介 ② 近況報告 ③ 1・2層から報告 ④ 池田市から報告	18
2	4.2.16	市保健福祉 総合センター 作業室	① 1・2層から報告 ② 池田市から報告 ③ 企業からの情報提供 ④ 委員からの報告	20

### (2) 第1層・第2層生活支援コーディネーター担当者会議の開催

生活支援コーディネーター間の連携を密に情報共有し、問題解決に取り組みました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者 (人)
1	3.4.8	市保健福祉 総合センター 研修室2-3	① 新メンバー紹介 ② 令和3年度事業計画について ③ 池田市地域支援課から報告	9
2	3.5.13	リモート会議 ホスト:2層 「みなみ」	① 2層 SC からの報告 ② 移動販売について ③ 大塚製薬さんから案内 ④ 1層から報告	8
3	3.6.10	リモート会議 ホスト:池田 市	① 1・2層・池田市地域支援課からの 報告 ② 移動販売について ③ 大塚製薬さんから情報提供	8
4	3.7.8	リモート会議 ホスト:池田 市	① 1・2層・池田市地域支援課からの 報告 ② 移動販売について ③ 大塚製薬さんから情報提供	8
5	3.9.9	リモート会議 ホスト:池田 市	① 1・2層・池田市地域支援課からの 報告 ② 移動販売について ③ 大塚製薬さんから情報提供 ④ 実習生見学	7
6	3.10.14	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	① 1層より報告 ② 2層の進捗状況報告 ③ 池田市より報告	5
7	3.11.11	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	① コープさんの送迎サービスについて ② 1・2層の情報共有 ③ 大塚製薬さんから情報提供	5
8	3.12.9	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	① コープさんの送迎サービスについて ② 1・2層の情報共有 ③ 大塚製薬さんからの情報提供	13
9	4.1.13	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	<1部> ① 移動販売について ② 1・2層の報告 ③ 池田市からの報告 <2部> ・リラクゼーション体操体験	5
10	4.2.10	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	<1部> ① 1・2層の報告 ② 池田市からの報告 <2部> ① リラクゼーション体操体験	6
11	4.3.10	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	① 次年度の計画について	5

(3) 第2層地域支え合い推進協議体委員会への参加

2層生活支援コーディネーターの会議・活動に出席し、課題整理や問題解決のコーディネ

ネットを2層の生活支援コーディネーターと行いました。

回	年月日	場 所	主 な 議 題	出席者 (人)
1	3.5.31	リモート会議	「えがおの会」 ① 去年の振り返り ② 今年度の活動について	11
2	3.9.27	市保健福祉 総合センター 研修室 2-1	「えがおの会」 ① 「男の介護教室」について ② 助成金について	4
3	3.10.25	ハッピークラ ブ	「山の手チーム」 ① メンバー紹介 ② 活動について	9
4	3.12.7	市会議室	「山の手チーム」 ① 生活支援体制整備事業の内容に ついて ② 活動報告について ③ コープさんの「買いもん行こカー」に ついて	12
5	4.1.21	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	「さくら」 ① 生活支援体制整備事業について ② ラジオ体操について ③ なごみの会について ④ 次年度の計画について	5
6	4.1.29	古江台ホール さくらそうデイ	「さくら」 ① メンバー紹介 ② 活動報告について ③ コープさんの「買いもん行こカー」に ついて	10
7	4.1.29	リモート会議	「えがおの会」 ① 今年度の取り組みについて ② 来年度の豊富について ③ 新規メンバー紹介	7
8	4.3.20	リモート会議	「山の手チーム」 ① 今年度の事業報告 ② コープさんの「買いもん行こカー」に ついて	6
9	4.3.23	市保健福祉 総合センター 作業室	「みなみ」 ① コープさんの「買いもん行こカー」に ついて ② 生活支援体制整備事業について ③ 通いの場について ④ 各地区からの報告	16

#### (4)研修会の開催

コロナ禍で外出自粛を余儀なくされる状況が続く高齢者が抱える問題「フレイル」や「ストレス」予防につながる活動に生かせるように、リラクゼーション体操を体験しました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容	出席者 (人)
1	4.1.13	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	リラクゼーション体操	5
2	4.2.10	市保健福祉 総合センター 研修室2-1	リラクゼーション体操	6

#### (5)研修会への参加

先進事例研究として、研修会に参加しました。

回	年月日	場 所	主 な 内 容	出席者 (人)
1	3.10.20	社協 ZOOM 会議	令和3年度支え合いをひろげる住民主 体の生活支援フォーラム 社会福祉法人全国社会福祉協議会	1
2	4.2.9	社協 ZOOM 会議	令和3年度生活支援コーディネーター 研究協議会～地域共生社会の実現に 向けて求められる役割と実践～	2

## 13. 有償協力員派遣事業(にじの会)

有償協力員派遣事業「にじの会」は、公的施策だけでは解決できない在宅福祉サービスのニーズに対して、住民相互の助け合いを基盤にして地域福祉の向上を図り、有償による福祉サービスを提供することにより解決していくことを目的としています。

令和3年度は、よりよい事業をめざすため制度を改正しました。会員への連絡、説明を重ねたおかげで、順調に制度を移行できました。また、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、活動中止を余儀なくされることがありました。しかし、その時々々の状況や利用会員・協力会員双方の思いを確認しながら、活動を続けました。

#### (1)相談件数 (件)

内容	利用相談	訪 問
件数	71	113

#### (2)会員数 (人)

	協力会員	利用会員	合 計
入会者数	8	21	29
退会者数	△5	△26	△31
前年からの継続会員数	22	96	118
合 計	25	91	116

(3)内容別稼働件数・時間数

内容	掃除 洗濯含む	食事 作り	買い物	外出の 付き添 い	庭関係	代理 朗読 ・代筆	その他	見守り	話相手	合計
派遣件数 (件)	725	78	117	50	47	20	13	0	1	1,051
派遣時間 (時間)	967.0	134.0	71.0	152.5	71.0	36.0	27.0	0.0	2.0	1,460.5

(4)広報啓発活動

- 会員への情報提供と交流を目的に「にじの会だより」を1回発行  
令和3年5月31日発行  
(新担当紹介、感染防止対策、令和2年度の活動の振り返り)
- 池田市社協広報令和4年2月号に協力会員の募集記事を掲載
- 協力会員2人へのインタビュー動画をYouTubeに投稿

(5)有償協力員運営委員会開催状況

(人)

月日	主な議題	出席者数
3.12.1	① 正副委員長の選出 ② コロナウイルス感染拡大防止自粛中の対応について ③ 令和3年度の運営状況について ④ 制度改正後の変更点、運営の課題について	9

## 14. 訪問介護事業

### [1] 訪問介護事業(ホームヘルパー派遣)

訪問介護員(ホームヘルパー)が、介護給付対象者の家庭を訪問し、入浴・排泄・食事、通院等の身体介護や食事の用意、洗濯、掃除等の日常生活の援助を行い、在宅生活を支援しています。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、生活機能向上を目的に、利用者本人ができないことを援助し、出来ることは本人自身が行い、出来ることが少しでも多くなるよう支援しました。

#### ・利用状況－介護給付訪問介護対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	32人	463 回
生 活 援 助		1,820 回
混 合 型		649 回
計	32人	2,932 回

#### ・利用状況－介護予防・生活支援サービス対象者

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
訪問型サービス	23人	1,654 回

### [2] さわやかホームサービス

介護保険・障がい者総合支援制度になじまない支援を必要とする方にホームヘルパーを派遣しました。

#### ・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
さわやかホームサービス	6人	24 回

## 15. 障がい者総合支援事業

### [1] 居宅介護(ホームヘルパー派遣)

障害者総合支援法に基づく介護給付対象者(身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者、難病等対象者)の家庭を訪問し、入浴・排泄・食事・通院等の身体介護や、食事の用意・洗濯・掃除等の日常生活の援助を行い、在宅生活を支援しました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
身 体 介 護	32人	1,204 回
家 事 援 助		3,163 回
通 院 介 助		211 回
計	32人	4,578 回

### [2] 同行援護(ガイドヘルパー派遣)

視覚障がい者に、社会生活上必要な外出や余暇活動等のための外出時にガイドヘルパーを派遣し、移動中の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
同 行 援 護	12人	1,228 回

## 16. 移動支援事業

視覚障がい者以外の方で屋外での移動に制限のある障がい者へは、移動支援(ガイドヘルパー派遣)で外出の介助を行いました。

・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 回 数
移 動 支 援	6人	248 回

## 17. 居宅介護支援事業・介護予防支援事業

### 〔1〕居宅介護支援事業

ケアマネジャーが利用者の心身の状態、本人・家族の希望、生活環境を勘案し、具体的な介護サービスの利用計画（ケアプラン）を作成し、サービス状況の把握、評価を行い、可能な限り在宅で生活できるよう支援しています。

また、介護予防・生活支援サービス対象者には、地域包括支援センターから委託を受け、生活機能の改善、向上を目的としたケアプランを作成しました。

#### ・利用状況

区 分	利 用 者 数	利 用 延 件 数
ケアプラン作成	41人	397 件
介護予防支援計画作成	15人	79 件
介護予防ケアマネジメント		45 件

#### ・利用状況一介護給付対象者

区 分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 介 護 1	162 件	14 件
要 介 護 2	133 件	11 件
要 介 護 3	31 件	13 件
要 介 護 4	59 件	5 件
要 介 護 5	12 件	1 件
計	397 件	44 件

#### ・利用状況一予防給付及び第1号事業の介護予防マネジメント

区 分	ケアプラン作成件数	月平均ケアプラン件数
要 支 援 1	38 件	3 件
要 支 援 2	62 件	5 件
事業対象者	24 件	2 件
合 計	124 件	10 件

### 〔2〕介護認定に伴う訪問調査

介護認定に伴う訪問調査を受託し、ケアマネジャーが訪問調査を行いました。

訪問調査件数	15 件
--------	------

## 18. 障がい者地域生活支援センターひだまり

障がいのある方が住み慣れた地域で安心した生活を送れるように、相談支援専門員が必要な相談に応じ、情報提供や支援、福祉サービスの利用援助を行ないました。

また、計画相談支援に基づくサービス等の利用計画立案、定期的なサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行い、適切な福祉サービス利用や計画の見直しを行いました。

名 称	実績件数
総合相談	1,256 件
サービス利用支援	56 件
継続サービス利用支援	66 件
障がい支援区分認定調査	4 件

## 19. 池田市さわやか地域包括支援センター

担当地区(池田・五月丘)の高齢者が住みなれた地域で安心して生活できるよう、社会福祉士、主任ケアマネジャー及び保健師等がチームを組み、介護予防ケアマネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業及び包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を実施しました。また、認知症の人やその家族に早期に関わり、適切な医療や介護を受けられるよう支援を行いました。

### [1] 介護予防ケアマネジメント

要支援認定者及び事業対象者の依頼を受けて、要介護状態になることをできる限り防ぐことや、それ以上悪化しないように維持・改善を図ることを目標とし、介護予防ケアマネジメントを行いました。

#### ・介護予防ケアマネジメント業務

ケアプラン 作成人数	介護予防 支援計画	介護予防 ケアマネジメント	合 計
315 人 (250 人)	1,396 件 (1,146 件)	1,401 件 (1,050 件)	3,112 件 (2,446 件)

( ) 内は、委託分

## [2] 総合相談支援事業

高齢者本人や家族等から高齢者に関する様々な相談を受け、情報提供、手続きの援助、関係機関への接続等を行っています。主な相談内容は、介護保険制度や認知症に関するものでした。

また、相談業務以外に民生委員、地区福祉委員、関係機関等からの情報提供を通して高齢者の実態把握に努めました。

区 分	相談延件数
相 談	1,131 件 (内、訪問 621 件)
実態把握	172 件 (主に独居・高齢者世帯)

## [3] 権利擁護事業

地域の高齢者を支えていく上で生じる様々な権利侵害を防止し、高齢者の権利を守り、尊厳のある生活を維持し、安心して生活ができるよう支援しています。主な相談内容として、身寄りがいない認知症高齢者や多問題を抱えるについての相談が増えます。

主な内容	相談延件数
1. 困難事例 2. 高齢者虐待 3. 成年後見制度 4. 消費者被害の防止	198 件

## [4] 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

個々の高齢者の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくことを目指して、地域における連携・協働の体制作りについて取り組んでみました。また、ケアマネジャーへの支援として、困難事例等への指導・助言や担当地区内7か所の居宅介護支援事業所を対象に勉強会を2回開催しました。

区 分	件 数
ケアマネジャーに対する個別指導	6 件
困難事例等への指導・助言	24 件

## [5] 池田市認知症初期集中支援推進事業

認知症初期集中支援チームとして、認知症の人やその家族に早期に関わり、早期診断・早期対応に向けた支援体制の構築について取り組みました。

対象者人数
10 人

## [6] 地区での活動

地域へ出向き、地域住民との交流を図ることで、相談しやすい関係づくりを目指したり、認知症や介護予防について普及啓発を行いました。

主な内容	回数
認知症サポーター養成講座	1回
ふれあいサロン	13回
市民向け認知症勉強会	1回
その他	7回

## 20.保健福祉総合センター管理運営事業

平成29年度より指定管理者として、池田市保健福祉総合センターの管理運営を行いました。(5年間)

指定管理者として5年目である令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、池田市による新型コロナワクチン接種会場の設置、会議室の利用休止や利用人数の制限、センター開館時間の短縮や利用制限、感染予防対策など、利用者によっては不便を強いる管理運営となり、センター利用回数及び利用人数は軒並み減少しました。そういった状況下においても、誰もが安心して利用できる、地域に開かれたセンターの管理運営を行うとともに、感染予防対策を講じたうえで市民向け講座などを実施し、センターの利用促進と周知に努めました。

### (1) センター利用状況

室名	定員	回数	利用者数(延)
大会議室	120人	0回	0人
会議室(1)	24人	0回	0人
会議室(2)	36人	0回	0人
会議室(3)	12人	0回	0人
講習会室	20人	0回	0人
健康教育室	84人	345回	9,433人
調理実習室	30人	58回	644人
計		403回	10,077人

※大会議室、会議室(1)、会議室(2)、会議室(3)、講習会室は、新型コロナワクチン接種会場となったため、使用不可。

(2) 行事開催状況

① 市民向け講座（シニア向けスマートフォン体験講座）

開催日	行事名	場 所	参加者数
3.6.28	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	28人
3.6.28	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	17人
3.10.27	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	18人
3.10.27	新しい生活様式 スマホ・タブレット活用術	池田市保健福祉総合センター健康教育室	7人
4.1.26	初心者向けスマホ教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	14人
4.2.28	買う前にわかる！スマートフォン体験教室	池田市保健福祉総合センター健康教育室	9人

② ころとからだのリラクゼーション講座

開催日	行事名	場 所	参加者数(延)
3.4.9～ 3.5.7	ころとからだのリラクゼーション講座 第1期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	28人
3.5.21～ 3.6.18	ころとからだのリラクゼーション講座 第2期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	24人
3.7.2～ 3.8.6	ころとからだのリラクゼーション講座 第3期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	27人
3.8.20～ 3.9.17	ころとからだのリラクゼーション講座 第4期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	31人
3.10.1～ 3.10.29	ころとからだのリラクゼーション講座 第5期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	30人
3.11.5～ 3.12.3	ころとからだのリラクゼーション講座 第6期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	28人
3.12.17～ 4.2.18	ころとからだのリラクゼーション講座 第7期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	28人
4.2.25～ 4.3.25	ころとからだのリラクゼーション講座 第8期講座 (全5回)	池田市保健福祉総合センター 多目的室3-1	31人

### (3) 啓発活動状況

- ①ホームページの随時更新（会議室空室状況の随時更新 など）
- ②各種資料の提供（各種パンフレット、地域福祉に関する資料 など）

### (4) その他実施状況等

- ①新型コロナウイルス感染症への対応
  - 手指消毒液の設置、非接触型温度計・消毒液の貸出、定期的な清掃及び消毒作業、受付窓口パーテーションの設置 など
  - 会議室の利用休止及び利用人数制限
  - 共有スペースの利用制限
  - センター開館時間の短縮
  - 大阪コロナ追跡システムの導入

### (5) 新型コロナウイルス感染拡大による会議室利用休止等の状況

- ①新型コロナワクチン接種会場となったことによる会議室利用休止
  - 令和3年4月1日～令和4年3月31日
  - 大会議室、会議室(1)、会議室(2)、会議室(3)、講習会室
- ②新型コロナウイルス感染拡大による会議室利用休止
  - 令和3年4月19日～令和3年6月20日
- ③新型コロナウイルス感染拡大による会議室の人数制限
  - 令和3年4月1日～令和4年3月31日
- ④開館時間の短縮
  - 令和3年4月19日～令和3年6月20日 午後6時まで
  - 令和3年6月21日～令和3年9月30日 午後8時まで

## 21. 喫茶パーラーいけだ

社協自主財源の基盤である喫茶「パーラーいけだ」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大等に伴い利用が大幅に減少しましたが、皆様に快適に過ごしていただけるよう努めてまいりました。

なお、喫茶「パーラーいけだ」は、今後経営状況の改善が望めないことから、令和4年3月末付けで閉店しました。